

新型コロナウイルス感染症対策について

4月8日から臨時休校が再開されました。その中で、4月中は、3回登校日を設ける予定としています。まだまだ、新型コロナウイルス感染症への不安や対策は続いていますが、学校に登校した際の留意点を下記に記しました。一人ひとりが、意識を高くもち、しっかり対策をしながら生活していきましょう。

1. 学校での対応について

(1) せきエチケットの徹底について（裏面も参考にしてください）

くしゃみやせきが出る時は、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれません。また、学校は長時間、人が多く集まる場のため、マスクの着用を推奨します。

- ・マスクを着用する
- ・せきやくしゃみは素手で受け取らないよう、ハンカチやティッシュを必ず持参し、いつでもすぐに取り出せるようにしておく
- ・使用済みのマスクは、自宅で処分し、学校のごみ箱には捨てない
- ・マスクをつける前には石けんで手洗いをし、はずした後も同様に手を洗い清潔にあつかう
- ・白色のマスクがない場合は、色物・柄物でもよい

(2) 手洗いについて（裏面も参考にしてください）

登校後、料理や食事の前、口や鼻に触れる前、帰宅・掃除・運動・作業後等には、こまめに石けんを使って手を洗う。

(3) 換気について（裏面も参考にしてください）

- ・1時間に1～2回を目安に換気する（休み時間は必ず教室、廊下の窓を開ける）
- ・常に、上窓やドアのすき間を開けておく

(4) 出席停止（欠席扱いになりません）について

- ・感染が判明した場合、治癒するまで
- ・感染者の濃厚接触者に特定された場合、感染者と最後に濃厚接触をした日から2週間
- ・その他、疑わしい症状があると認められた場合、休養した期間
- ・基礎疾患があり重症化するリスクが高く、登校すべきでないと医師が判断した場合

2. 家庭での対応について

(1) 登校前の健康観察について（健康チェックカードを活用してください）

- ・毎朝、自宅で体温を測り登校する
- ・せき、だるい、頭痛等のかぜ症状がないか、保護者の方と健康観察をする

朝から37度を超える発熱や前日の発熱、せき等の症状がある場合は、登校を控え、自宅で休養してください。登校しても早退になる場合が多いです。早退することになった場合に、保護者の方と連絡がとれるよう、緊急連絡先の確認をしておきましょう。

(2) 健康管理について

- ・人ごみを避ける
- ・睡眠時間や食事などの規則正しい生活（体調不良のときは早めの休養を心がけましょう）

▼ 以下を参考に対策しましょう。

正しい手の洗い方

手洗いの前に
爪は短く切っておきましょう
時計や指輪は外しておきましょう

- 1 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 2 手の甲をのぼすようにこすります。
- 3 指先・爪の間を念入りにこすります。
- 4 指の間を洗います。
- 5 親指と手のひらをねじり洗います。
- 6 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう

マスクがない時

マスクを着用する
(口・鼻を覆う)

どっきの時

ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用

1 鼻と口の両方を
確実に覆う

2 ゴムひもを
耳にかける

3 隙間がないよう
鼻まで覆う

何もしずに咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを手でおさえる

首相官邸
Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

詳しい情報はこちら

厚労省 検索

出典：首相官邸ホームページ (<http://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>)

空気の流れを考えた換気を

◎よい例（横から見た図）

上下左右の対角に空気の入出口を開けるのがポイントです。

上から見た図

よい例

あまりよくない例

向かい合わせの窓やドアが開いていると空気がよく流れます。

片側だけしか窓が開いていないとなかなか空気が入れかわりません。

体温計の使い方

かわいた布でわきの下をふきます。

わきの下のくぼみに体温計をあてます。

体温計が下向きになるように

体温計をはさんだ腕を反対の手で軽く押さえます。

